

デジタル・DX化伴走型支援

～企業ドクターが
あなたの会社を応援します～

TOPIC



当所の令和8年度事業計画では、デジタル・DX化伴走型支援の強化を重点事業として位置付けています。人手不足への対応はもとより、事業の継続・発展等にデジタル・DXは不可欠になっていきますが、取組を進めるためには専門家の協力が欠かせません。

これまでも、セミナーの開催や個別相談等でデジタル・DXについて支援を実施してきましたが、今年度は、DXによる経営改善の伴走型支援に多くの実績を有する、(株)フォーバル北海道・東北カンパニーと連携した伴走型支援事業を実施します。

ESG経営とDX

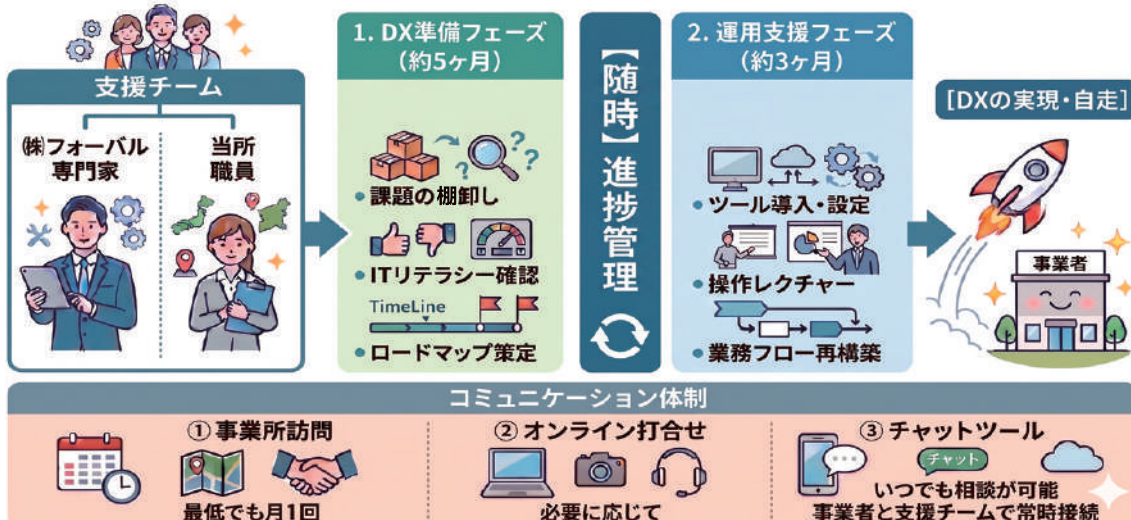
企業が長期的な成長を実現するためには、「社会から選ばれ続ける企業」となることが必要です。そのためには、ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点を経営に取り入れることが重要です。既に地方自治体や地域の中核企業では、ESGの視点からビジネスモデルの変革が進んでおり、小樽市内の中小・小規模事業者がこの流れに取り残されないような環境整備が

求められます。

ESG経営は、DXによる経営改善から始まるものであり、DXで得られた効率化やデータ活用成果を基盤に、次のステップとしてESGの視点を経営に組み込むことで、持続可能なビジネスモデルを構築し、長期的な成長が可能となります。したがって、DXはESG経営への道筋を開く重要な第一歩であるといえます。

伴走型支援の進め方

今回、そのDXを進めるための伴走型支援事業をスタートすることになります。支援を受ける事業者に応じて、(株)フォーバルの専門家「企業ドクター」と当所職員とが支援チームを形成します。支援の頻度は、事業所訪問を最低でも月に1回実施し、必要に応じてオンラインで打合せ等を行います。また、常時コミュニケーションが取れるようチャットツールを事業者と支援チームとの間で開設し、いつでも相談が可能な体制を構築します。支援の進め方は、「DX準備フェーズ」(5ヵ月)と「運用支援フェーズ」(3ヵ月)と「運用支援フェーズ」



エーズ」(3ヵ月)の2つのフェーズに分けたうえで、随時、進捗管理を行う形で進めます。(図1)

(図1) 伴走型支援の進め方

支援は、単に有料のツールを導入して、業務効率化や課題解決などを図るものではなく、まず、業務実態等のヒアリングを重点的に実施し、事業者のDX推進度の診断を行ったうえで、課題抽出を行い、理想とする姿を設定して支援内容の確認を行うことからスタートします。

デジタルツールの導入が必要な場合は、エクセルをはじめとする無料のツールを活用して、できるかぎり大きな投資をせずに、企業経営を変革していくことを目指すものとなります。

■セミナーを開催します

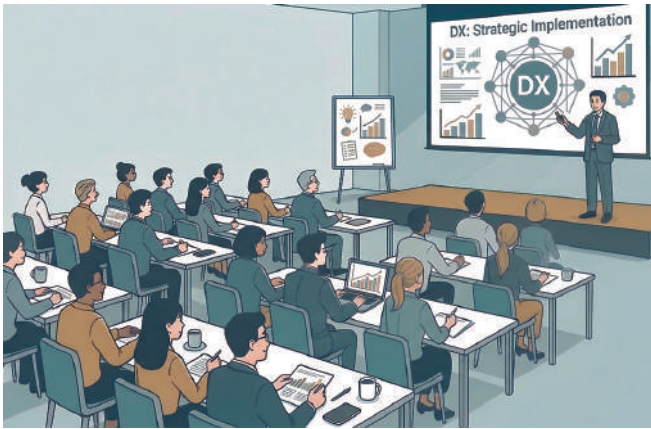
今回の伴走型支援事業は、まず、「デジタル・DXセミナー」を開催して、DXそのものの考え方に ついて講義を行ったうえで、どのようにDXを進めていくのかについて具体的な事例も交えて参加者に知識を取得していただきます。

同セミナーに参加していただいた事業者のうち、令和8年6月～令和9年1月の約8カ月間にわたる伴走型支援を受け入れ、DX化に取り組むことを希望する事業者

に手を挙げていただき、個別面談を実施し、支援内容の合意形成を行ったうえで事業をスタートします。

今年度はモデルケースとして3社を対象に支援をスタートする予定ですが、本事業はその効果を見ながら、来年度以降も継続する予定としています。

会員の皆様には、まずは下記「デジタル・DXセミナー」に参加していただき、伴走型支援の活用について検討していただくことをお願いいたします。



参加無料

「デジタル・DX セミナー」を開催します!

小さな一歩から始める生産性向上ロードマップ!

中小・小規模事業者の業務改善術

○日 時 令和8年6月4日(木) 午後1時30分～午後3時30分

○会 場 小樽経済センタービル 7階ホール

プログラム 【第1部】 業務効率改善セミナー(60分)

(株)フォーバル北海道・東北カンパニーF-Japan 推進部
山本 裕介氏



【第2部】 売上拡大セミナー(45分)

(株)フォーバル北海道・東北カンパニーF-Japan 推進部
村田 修一氏



下記QRコードからお申込み下さい。
※申込締切6月1日(月)



株式会社フォーバル

1980年に設立され、情報通信、海外、環境、人材・教育、起業・事業承継の5分野に特化した「次世代経営コンサルタント」企業です。「企業ドクター」によるDX化伴走型経営支援により、経営課題を抱える中小・小規模事業者の業績向上に、多くの実績を有しています。